

令和6年度版

よ く わ か る 公 共 事 業

～ 公共事業の目的、効果、進捗状況を情報発信 ～

太田地域



一級河川石田川 調節池整備



一級河川聖川（中流1工区） 河川改修



県道烏山竜舞線（飯塚町第二工区） 電線共同溝



県道大間々世良田線（世良田交差点） 交差点改良



ていぼう
堤防

どんな効果
があるの？



はし
橋

事業の進み
具合は？

何のために事業
しているの？



どうろ
道路

どんな事業？



こうえん
公園

太田地域

太田地域は、県の南東部に位置し、南は利根川、北は渡良瀬川が流れ、市街地北部に標高239mの金山と、それに隣接する八王子丘陵が走るほかは、概ね平坦です。また、北関東自動車道が北部地域を、東毛広域幹線道路が南部地域を通過して、関越自動車道、東北自動車道と接続し、さらに東武鉄道によって東京と接続しています。



地域の優れた特性

- 県内第1位の工業出荷額を誇り、自動車産業に代表される北関東屈指の企業集積拠点です。
- 近隣県との交流・連携面では、救急・災害医療、産業振興等における広域的な取組が進められています。また、首都圏に通勤・通学することが可能な便利な地域です。
- 2020年「住みよさランキング」（東洋経済新報社）で、太田市は県内12市の中で第1位となっています。

地域の現状と課題

- 令和元年東日本台風など、近年、頻発する気象災害を踏まえ、水害災害リスクを軽減するための取組が求められています。
- 豪雨時や地震時等でも道路の安全な通行を確保するための取組が求められています。
- 安心して子育てができ、医療や福祉サービスが受けられるなど、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられる環境を整えるための取組が求められています。
- 産業活力の更なる向上に向け、北関東自動車道を有効に活用した物流の効率化を図るための取組が求められています。
- 市街地を中心に交通渋滞が発生していることから、市街地等の円滑な交通を確保するための取組が必要です。
- 交通事故死者数が県内の他地域に比べ多く、対策すべき事故危険箇所も多く残されていることから、安全な道路・交通環境の確保が必要です。



県民の声

- 豪雨時に住宅地が冠水する箇所について、河川整備とあわせて、道路冠水対策を進めてほしい。
- 通学路なのに歩道がないため、児童が安心して通学できない箇所の歩道整備を進めてほしい。
- 太田強戸スマートIC[※]へのアクセスのための道路ネットワークの整備を進めてほしい。
- 地域産業の発展に伴い発生する交通渋滞への対策が必要である。
- 街路や公園の整備、良好な住環境の一層の充実が必要である。

地域の課題を解決するための主な取組方針

政策1 災害レジリエンスNo.1の実現

- ① 令和元年東日本台風と同規模の豪雨による水害リスクを軽減するため、一級河川石田川の堤防強化や一級河川八瀬川の堤防嵩上げ等を推進します。
- ② 社会経済の壊滅的な被害を回避するため、一級河川石田川の調節池整備や一級河川八瀬川の河川改修等を推進します。
- ③ 水害リスクを軽減するため、一級河川大川の河川改修等を推進します。
- ④ 災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため、国道407号や県道前橋館林線の電線共同溝の整備等を推進します。

政策3 多様な移動手段の確保

- ① 物流の効率化を図るため、県道太田大間々線のバイパス整備等を推進します。
- ② 市街地等の円滑な交通を確保するため、県道古戸館林線の交差点改良等を推進します。
- ③ 安全な道路・交通環境を確保するため、県道足利伊勢崎線の歩道整備や県道烏山竜舞線の電線共同溝の整備等を推進します。
- ④ 市街地の渋滞緩和や物流の効率化を図るため、(都)太田西部幹線等の環状線の整備効果について検討します。

～掲載事業一覧～

太田地域

番号	事業内容	施工箇所	路河川名	ページ番号
1	堤防強化	太田市下田島町ほか	一級河川石田川	1
2	堤防嵩上げ	太田市古戸町ほか	一級河川八瀬川	2
3	調節池整備	太田市北金井町	一級河川石田川	3
4	河川改修	太田市本町	一級河川八瀬川	4
5		太田市下田島町～新田市野井町	一級河川大川(上流・下流工区)	5
6		太田市細谷町	一級河川聖川(中流1・2工区)	6
7	電線共同溝	太田市西矢島町	国道407号(西矢島町工区)	7
8		太田市本町	県道前橋館林線(本町工区)	8
9	バイパス整備	太市新田小金井町～山之神町	県道太田大間々線(新田藪塚工区)	9
10	現道拡幅	みどり市笠懸町阿左美 ～太田市大原町	県道桐生伊勢崎線(阿左美大原工区)	10
11		太田市上強戸町～吉沢町	県道足利伊勢崎線(強戸工区)	11
12	交差点改良	太田市世良田町	県道大間々世良田線(世良田交差点)	12
13		太田市東長岡町	県道佐野太田線(東長岡交差点)	13
14		太田市古戸町	県道古戸館林線(古戸交差点)	14
15		太市新田大根町	県道前橋館林線(新田大根町交差点)	15
16	歩道整備	太市天良町	県道足利伊勢崎線(天良町工区)	16
17		太市新田木崎町	県道新田上江田尾島線(新田木崎町工区)	17
18	電線共同溝	太市飯塚町～下浜田町	県道鳥山竜舞線(飯塚町第二工区)	18
19	交差点改良	太市熊野町	国道407号(熊野町交差点)	19
20		太市東金井町	国道407号(追分交差点)	20
21	歩道整備	太市新田大根町	県道大原境三ツ木線(新田大根町工区)	21
22		太市新田赤堀町	県道新田上江田尾島線(新田木崎2期工区)	22

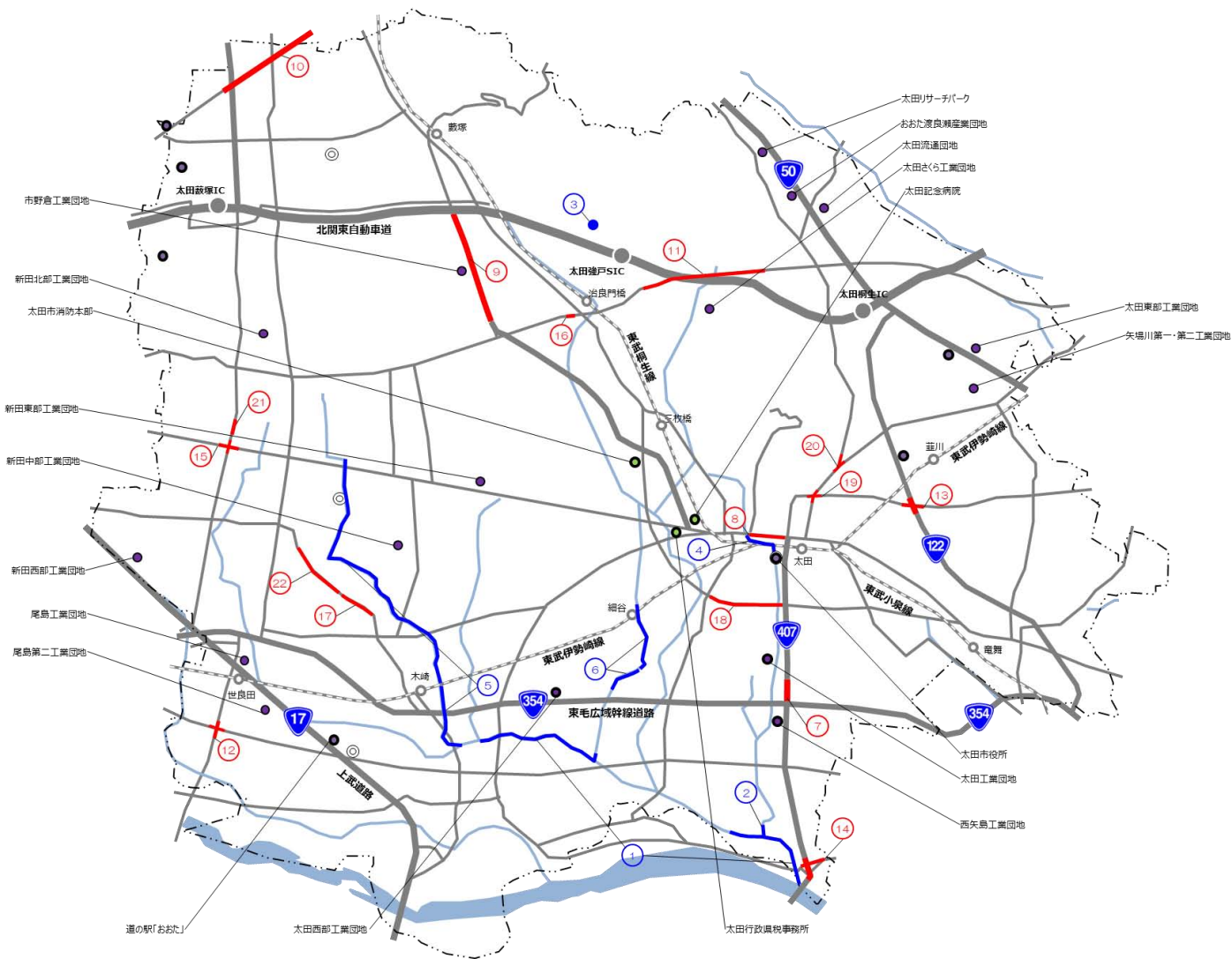
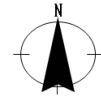
凡 例

【事業分野区分】

- 道路事業
- 河川事業
- 砂防事業
- その他事業（下水・住宅・公共交通等）

【その他】

- 主要な防災拠点（1次防災拠点）
- 主要な防災拠点（1次防災拠点以外）
- 主要な物流拠点（産業団地）



5km



どのような未来を目指すための事業か

令和元年東日本台風と同規模の豪雨による
河川氾濫の水害リスクを軽減するため

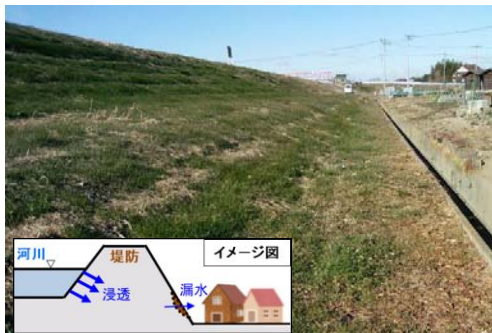
堤防の弱点を改善して 堤防を強化しました

地元の声

・洪水、浸水被害がないように対策をしてほしい。（地元住民）

事業前

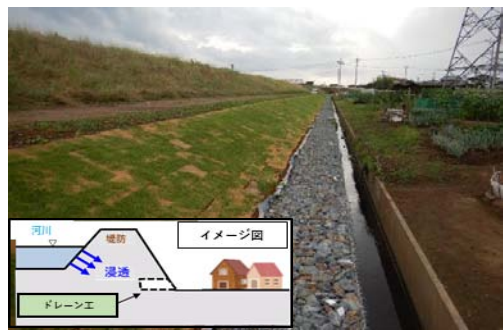
◆河川水位が高い状況が続くと、堤防内に河川水が浸透し、漏水をきっかけに決壊するおそれがありました。



事業前の状況

事業後

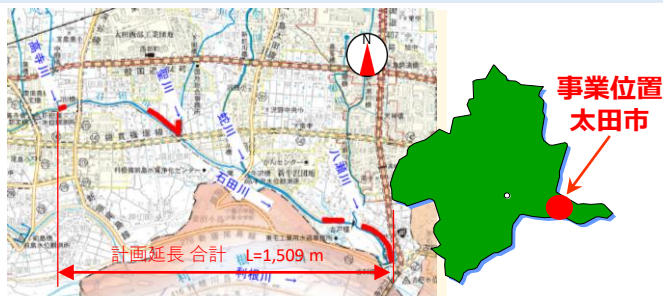
◆堤防に浸透した水を速やかに排水する構造にし、堤防が強化されました。



事業後の状況

事業の概要

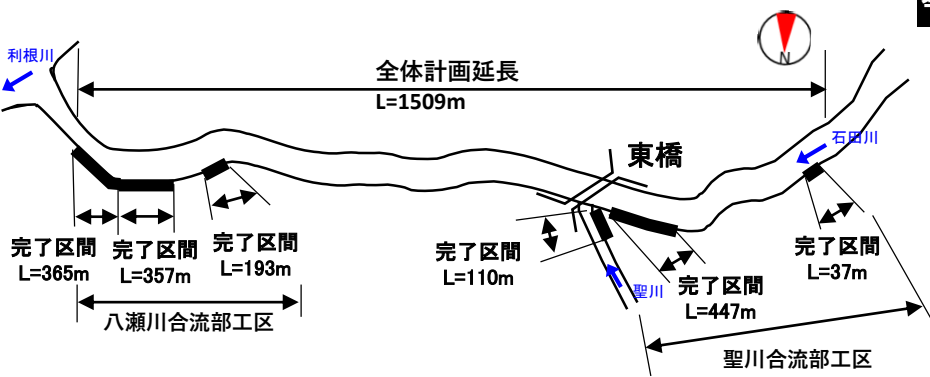
- 事業箇所：太田市下田島町 ほか
- 事業内容：堤防強化 延長 1,509m
- 事業期間：令和元年度～令和3年度



事業の進捗状況（令和3年度完了）

今、何をしているか

令和3年度に、堤防を強化する工事が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

令和元年東日本台風と同規模の豪雨による河川氾濫の水害リスクを軽減するため

堤防を嵩上げて流せる水の量を増やしました

地元の声

・令和元年東日本台風により八瀬川から越水、溢水が生じたので対策を講じてほしい。（地元住民）

事業前

- ◆ 令和元年東日本台風等より、周辺の家屋において、浸水被害が発生しました。

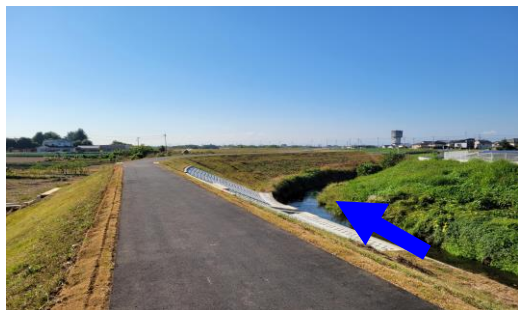
浸水被害の状況



事業前の状況

事業後

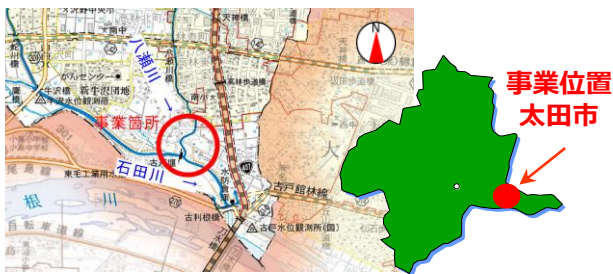
- ◆ 堤防が高くなり下流へ安全に流せる水の量が増え、河川の氾濫による被害のリスクが軽減されました。



事業後の状況

事業の概要

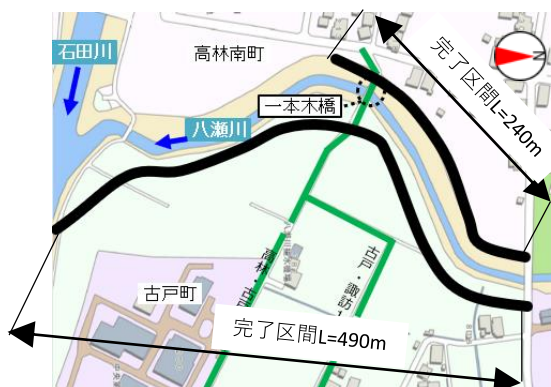
- 事業箇所：太田市古戸町ほか
- 事業内容：右岸 堤防嵩上げ 延長 240m
左岸 築堤 延長 490m
- 事業期間：令和2年度～令和4年度



事業の進捗状況（令和4年度完了）

今、何をしているか

令和4年度に、堤防工事が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了





どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、
社会経済の壊滅的な被害を回避するため

洪水を一時的に貯める 調節池をつくりました

地元の声

・河川氾濫の少ない安心な地域づくりをお願いします。（地元住民）

事業前

◆集中的な降雨があった際、河川への流入量が増え、浸水被害が発生しました。
(平成29年10月)



事業前の状況

事業後

◆調節池に雨水を一時的に貯留することで、河川への流入量を減らし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減しました。

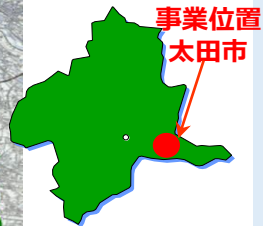
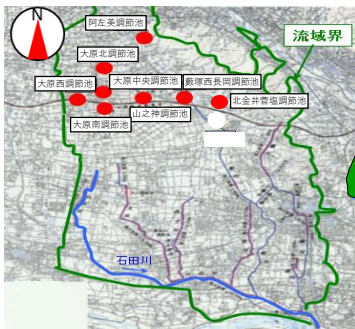


雨水貯留状況

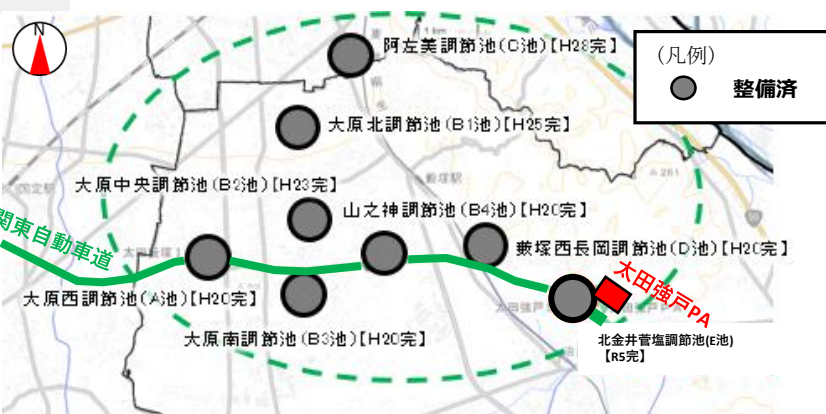
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：太田市北金井町
- 事業内容：調節池 8池
- 事業期間：平成12年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）



今、何をしているか

令和5年度に事業が完了し、調節池が完成したことで、河川氾濫による水害リスクが軽減されました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、社会経済の壊滅的な被害を回避するため

川幅を拡げて流せる水の量を増やします

地元の声

- ・川が住宅地の中に入り組んでいて、大雨の時に危険を感じる。（地元住民）
- ・区画整理事業と協調して使いやすい土地にしてほしい。（地元住民）

事業前

◆川の断面が小さく、住宅地の中に入り組んでいて、浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

事業後

◆太田市の区画整理事業と協調して、川幅を拡げることにより、流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：太田市本町
- 事業内容：河道拡幅 延長 634m
- 事業期間：平成7年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、橋梁及び護岸工事を実施します。



一級河川 大川 (上流・下流工区) 河川改修事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減し、
社会経済の壊滅的な被害を回避するため

川幅を拡げて流せる
水量を増やします

地元の声

- ・大雨の時はすぐに増水して非常に危険。(地元住民)
- ・早く改修を進め、安心して生活できるようにしてほしい。(地元住民)

事業前

◆大雨の時、水が一度に小さい河道に流れ込むため、河川が氾濫しました。
(平成29年10月)

浸水被害の状況



事業前の状況

事業後

◆川幅を拡げ、流せる水量を増やすとともに、調節池に水を貯めることにより下流へ流れ込む水の量を減らし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



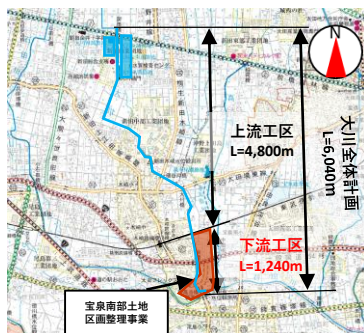
整備済み調節池の
雨水貯留時の状況



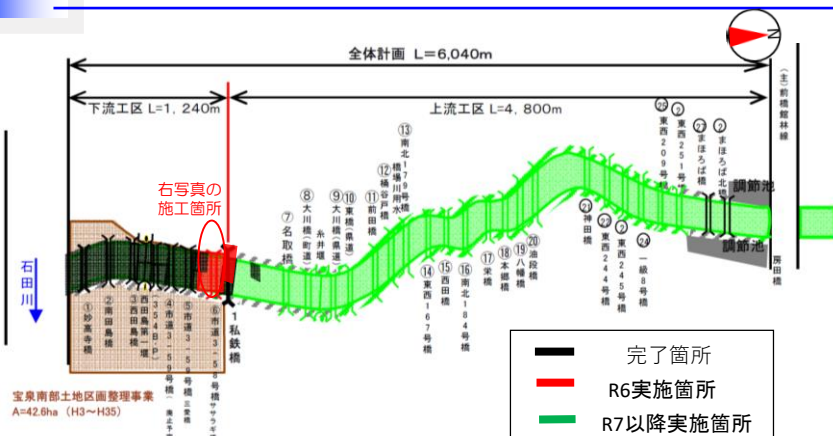
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：太田市下田島町～新田市野井町
- 事業内容：河道拡幅 延長 6,040m
- 事業期間：下流工区：平成4年度～
上流工区：平成4年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、護岸工事を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



どのような未来を目指すための事業か

河川氾濫による水害リスクを軽減するため

川幅を拡げて流せる 水の量を増やします

地元の声

- ・用排水路や固定堰の影響により、川があふれそうになったり周辺道路が冠水しています。(地域住民)
- ・周辺地域住民の意向をふまえ計画し、安心して静かな生活ができる場所にしてほしい。(地域住民)

事業前

◆川の断面が小さく、蛇行しているため浸水被害が発生するおそれがあります。



事業前の状況

出水時の水位

事業後

◆川幅を広げることにより、下流へ安全に流せる水の量を増やし、河川の氾濫による被害のリスクを軽減します。



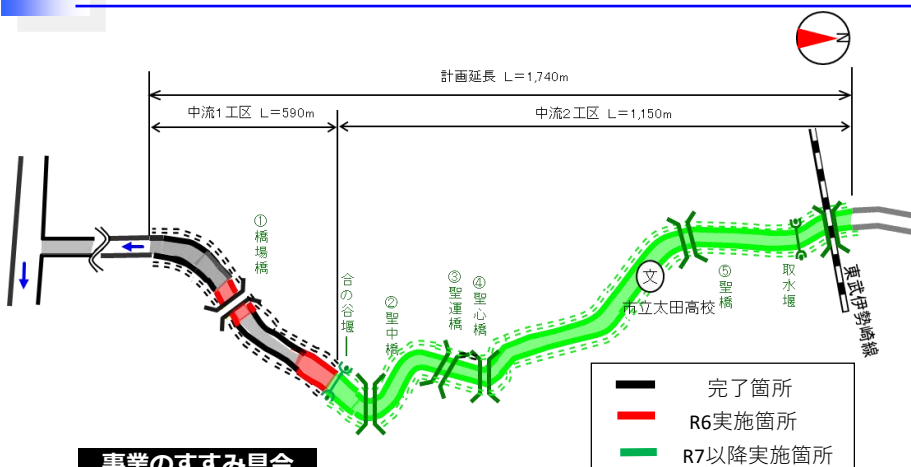
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：太田市細谷町
- 事業内容：河道拡幅 延長 1,740m
- 事業期間：中流1工区：平成23年度～
中流2工区：平成23年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、用地取得、橋梁工事を実施します。



橋梁工事に伴う迂回路の設置状況



どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・景観向上と災害時のインフラ確保を期待している。（地元住民）
- ・近隣の市街地では電線の地中化が進捗しており、事業の必要性を認識している。（地元区長）

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

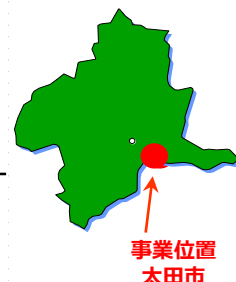
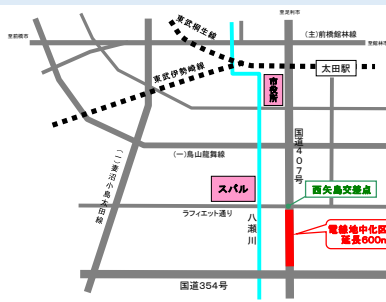
- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



完成している電線共同溝区間

事業の概要

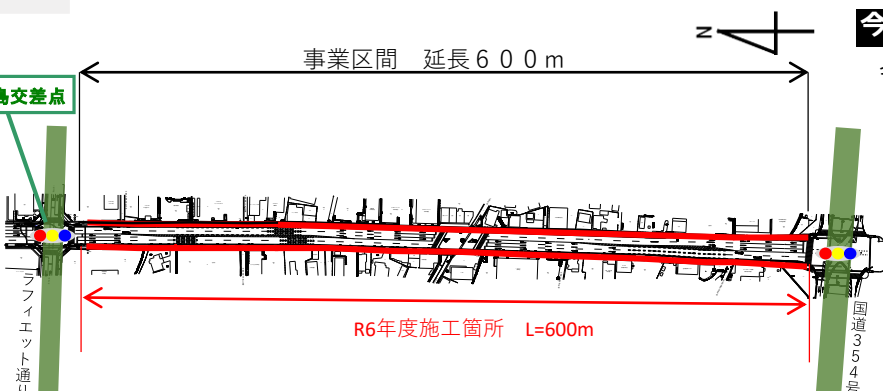
- 事業箇所：太田市西矢島町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長1,200m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか

令和6年度は、歩道の舗装工事を実施し、事業を完了させます。



事業のすすみ具合





どのような未来を目指すための事業か

災害時にも機能する強靱な道路ネットワークを構築するため

電線を地中化して 電柱を撤去します

地元の声

- ・災害時に電柱が道をふさがないようにしてほしい。（地元住民）
- ・段差（マウンドアップ）や路面が滑りやすい舗装材料であるため危険である。（地元住民）

事業前

- ◆電柱があるため、災害時に電柱が倒壊し、道路が寸断されるおそれがあります。



事業前の状況

事業後

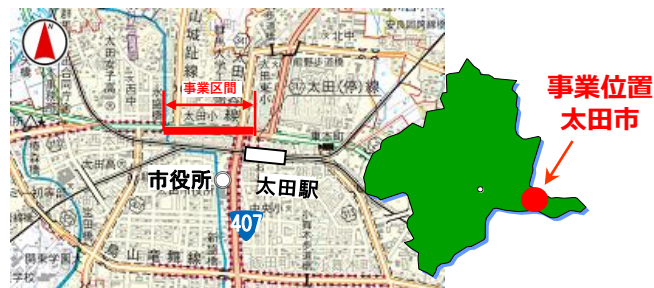
- ◆道路上の電柱が無くなり、災害時の安全な通行が確保されます。



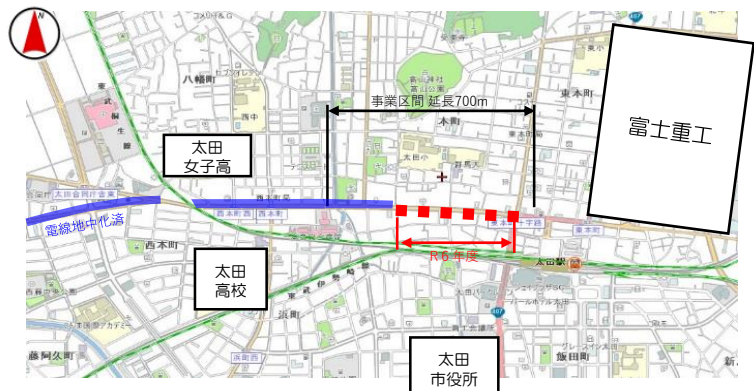
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：太田市本町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長1,400m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、電線共同溝の管路工事を進めます。



事業のすすみ具合



県道太田大間々線（新田藪塚工区） バイパス整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化を図るため

バイパス道路をつくります

地元の声

- ・渋滞して不便なので、早く整備して地域間の連携を強化してほしい（地元住民）
- ・市街地から太田藪塚ICやみどり市方面への交通がよくなると思う（地元住民）

事業前

- ◆ 朝夕の通勤時間帯を中心に交通渋滞が発生しており、移動に時間がかかります。



事業前の状況

事業後

- ◆ バイパス道路を整備することにより移動時間が短縮するとともに、周辺道路の渋滞が緩和します。



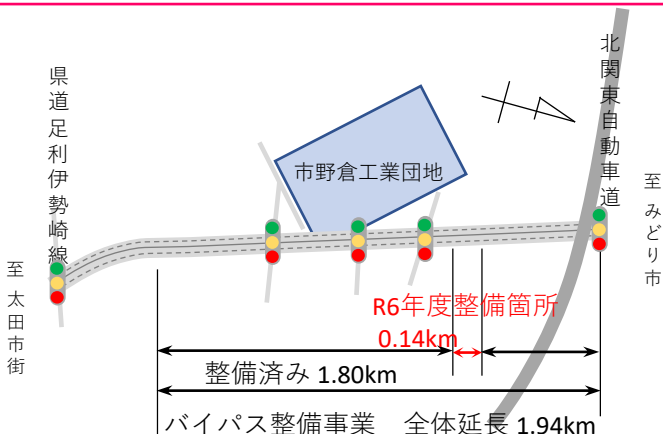
事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：太田市新田小金井町～山之神町
- 事業内容：延長1.94km
道路幅 22.75m～25.00m
- 事業期間：平成25年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、道路改良工事を実施します。



県道足利伊勢崎線 (強戸工区) 現道拡幅事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

物流の効率化を図るため

道路を拡幅します

地元の声

- ・工業団地から太田強戸SICへ向かうアクセス性を良くしてほしい。(地元企業)
- ・渋滞を減らすために、道路を広げてほしい。(道路利用者)

事業前

- ◆関東自動車道の太田強戸SICが平成30年7月に供用開始したことに伴い、現道の交通量が増加し、朝夕には渋滞が発生しています。



事業前の状況 (現道2車線)

事業後

- ◆車道部が4車線となることで、北関東自動車道の太田強戸SICへアクセス性が向上すると共に、物流の効率化及び安全で円滑な通行が確保されます。



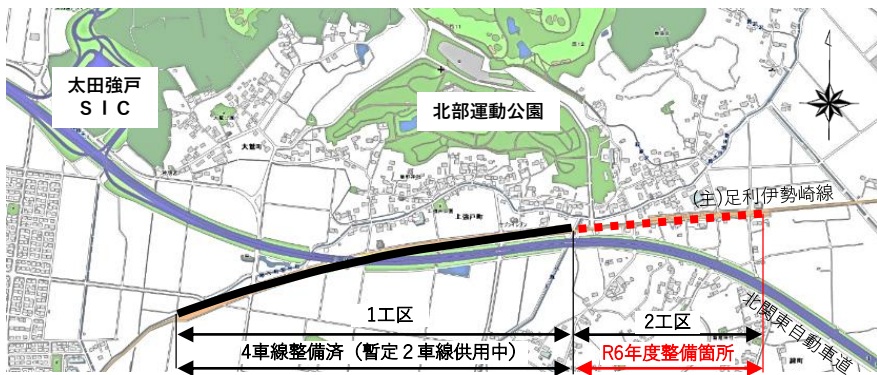
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：太田市上強戸町～吉沢町
- 事業内容：現道拡幅 延長 1.8km
道路幅 25.0m
- 事業期間：平成23年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

今、何をしているか

令和6年度は、交差点周辺の道路改良工事、橋梁工事を実施します。



県道大間々世良田線（世良田交差点） 交差点改良事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

市街地の円滑な交通を確保するため

右折車線や歩道を 整備しました

地元の声

- ・渋滞を解消してほしい（地元住民）
- ・歩道をつかって安心して通れるようにしてほしい（地元住民）

事業前

◆右折車線がないため渋滞しています。歩道も狭く、危険な状況でした。



事業前の状況

事業後

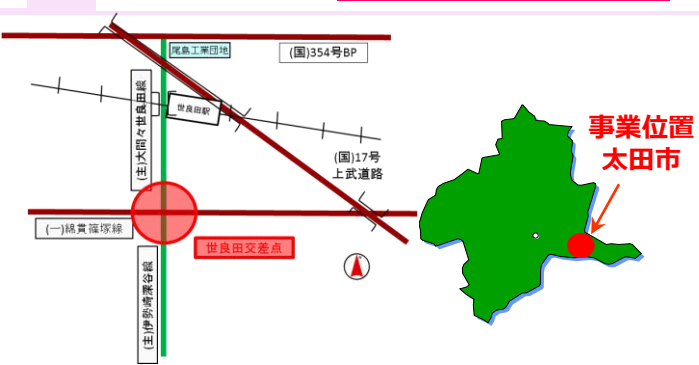
◆右折車線及び歩道を設置し、歩行者や車両の安全で快適な通行空間を確保しました。



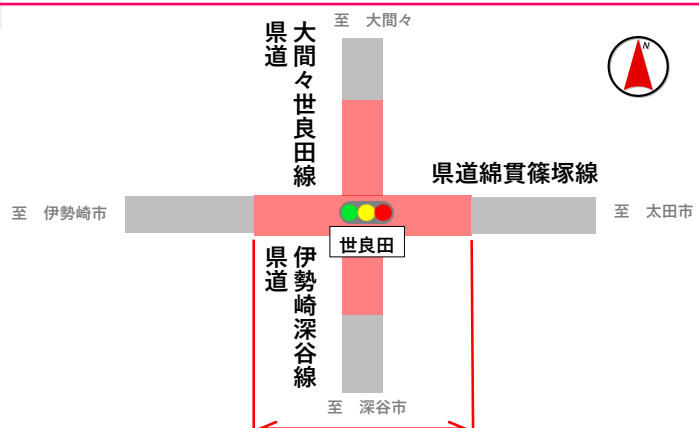
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：太田市世良田町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 460m
- 事業期間：平成22年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）



今、何をしているか

令和5年度に、交差点の改良が完了しました。



事業のすすみ具合 交差点改良区間 延べ460m

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

市街地の円滑な交通を確保するため

右折車線と 歩道を整備しました

地元の声

・右折レーンが無いため、通勤時間帯に渋滞が発生している。(地元住民)

事業前

◆右折車線がなく、右折待ちの車両により渋滞が発生していました。また、歩道が狭く歩行者が危険な状況にありました。



事業前の状況

事業後

◆右折車線及び歩道を設置し、歩行者や車両の安全で快適な通行空間を確保しました。



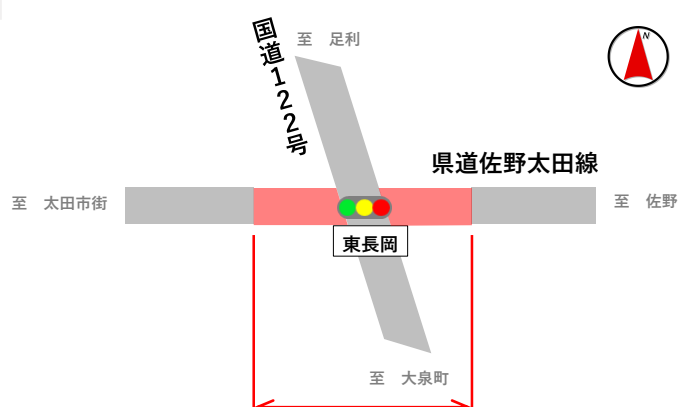
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：太田市東長岡町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 100m
- 事業期間：平成29年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に、交差点の改良が完了しました。



事業のすすみ具合

交差点改良区間 L=100m

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

市街地の円滑な交通を確保するため

連続する交差点をひとつにまとめ、線形をなおします

地元の声

- ・交差点が連続しているので、交通渋滞が激しい(地元住民)。
- ・刀水橋方向から右に曲がる時、道路がカーブして見通しが悪いので、非常に危ない(地元住民)。

事業前

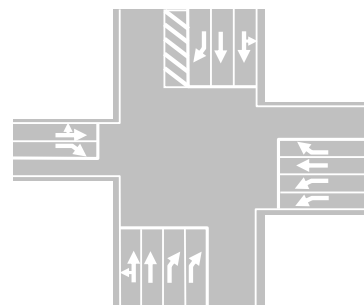
◆交差点が連続し、渋滞を引き起こしており、視認性も悪く危険な状況となっています。



事業前の状況

事業後

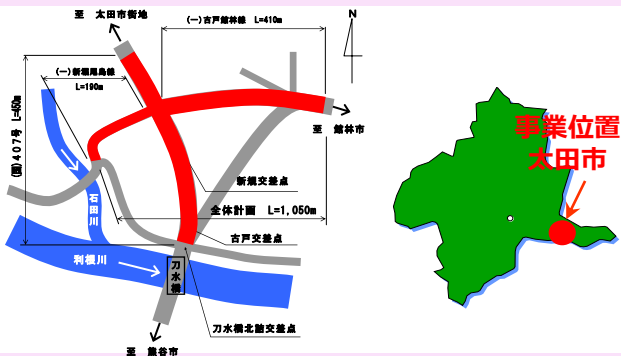
◆交差点を集約することで渋滞緩和や視認性が向上し、より安全で快適な通行が確保されます。



事業後のイメージ

事業の概要

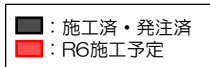
- 事業箇所：太田市古戸町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 1,050m
- 事業期間：平成21年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



事業のすすみ具合



今、何をしているか

令和6年度は、用地取得、交差点工事を実施します。





どのような未来を目指すための事業か

市街地の円滑な交通を確保するため

右折車線や歩道を 整備します

地元の声

- ・朝夕の渋滞を解消してほしい（地元住民）
- ・横断歩道橋をつくって安心して通れるようにしてほしい（地元住民）

事業前



◆右折車線がないため渋滞が発生しています

◆歩道が狭く通学路が危険な状況にあります



事業前の状況

事業後

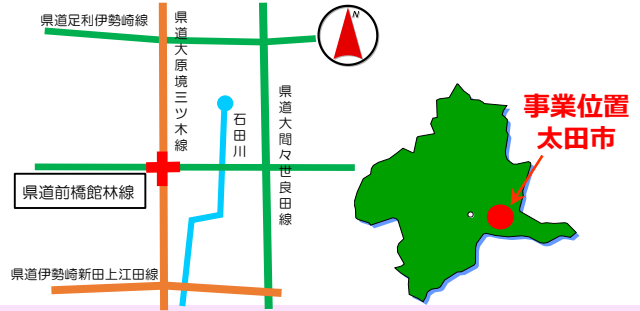
◆右折車線及び歩道を設置し、歩行者や車両の安全で快適な通行空間を確保します



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

- 事業箇所：太田市新田大根町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 503m
- 事業期間：平成27年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）



今、何をしているか

令和6年度は、用地取得と道路改良工事を実施します。



事業のすすみ具合



県道足利伊勢崎線 (天良町工区) 歩道整備事業

事業完了
電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

安全な道路・交通環境を確保するため

歩道を整備しました

地元の声

・近隣小中学校の指定通学路（一部）でもあるが、歩道がなくて危険である。（地元住民）

事業前

◆歩道がなく、歩行者は路肩を歩くため、交通事故のおそれがありました。



事業前の状況

事業後

◆歩道を設置することで、歩行者の安全な通行空間を確保しました。



歩道整備後の状況

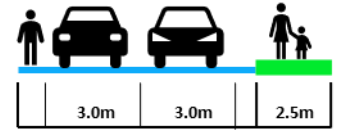
事業の概要

- 事業箇所：太田市天良町
- 事業内容：歩道整備 延長 340m
歩道幅員 2.5m
- 事業期間：平成26年度～令和4年度

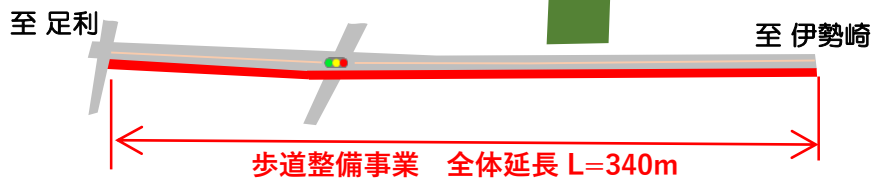


事業位置
太田市

事業の進捗状況（令和4年度完了）



0.50m 0.5m 強戸こども園



今、何をしているか

令和4年度に、歩道工事が完了しました。



事業のすすみ具合



県道新田上江田尾島線 (新田木崎町工区) 歩道整備事業

事業継続中

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

安全な道路・交通環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・小学校の児童が歩くのに危険だ（地元住民）
- ・大型車両の往来が激しいため、本当に危なくて困っている（地元住民）

事業前

◆交通量が多いうえに歩道がないため、危険な状況にあります。



事業前の状況

事業後

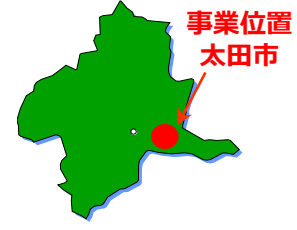
◆歩道を整備することにより、通学児童の安全を確保します。



事業後のイメージ（一例）

事業の概要

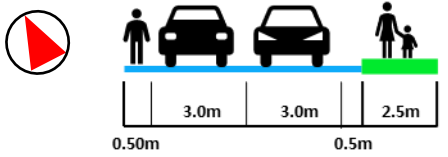
- 事業箇所：太田市新田木崎町
- 事業内容：歩道整備 延長820m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：平成29年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

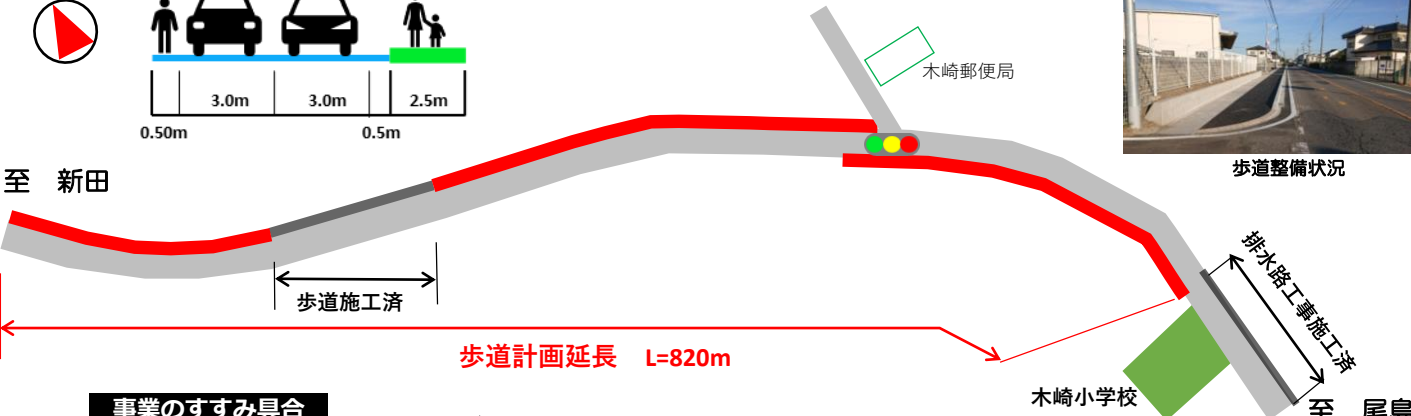
今、何をしているか

令和6年度は、用地取得を進め、歩道整備工事を実施します。



歩道整備状況

至 新田



歩道計画延長 L=820m

事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了

県道鳥山竜舞線（飯塚町第二工区） 電線共同溝事業

事業完了

電子データはこちら▶



どのような未来を目指すための事業か

安全な道路・交通環境を確保するため

電線を地中化 しました

地元の声

- ・近隣の市街地では電線の地中化が進捗しており、事業の必要性を認識している。（地元住民）
- ・歩道の段差を解消して安心して通行できるようにしてほしい。（地元住民）

事業前

◆電柱があるため、歩行者の通行の支障となっていました。



事業前の状況

事業後

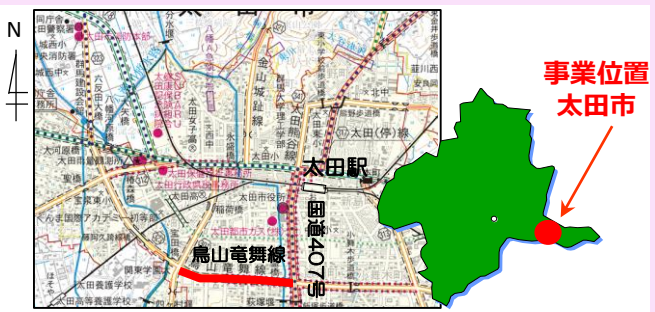
◆歩道上の電柱が無くなり、歩行者の安全な通行空間が確保されます。



事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：太田市飯塚町～下浜田町
- 事業内容：電線共同溝整備 延長2,400m
- 事業期間：平成22年度～令和5年度



事業の進捗状況（令和5年度完了）

今、何をしているか

令和5年度に、電線の地中化が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始

事業完了



どのような未来を目指すための事業か

市街地の円滑な交通を確保するため

右折車線を 設置しました

地元の声

- ・右折車線がないため、右折待ち車両による渋滞が発生。(地元住民)
- ・右折待ちの車を避けるために、直進車が路肩等に入り込み、歩行者・自転車等に危険が及ぶ。(地元住民)

事業前

◆右折車線がないため、右折待ちの車両により渋滞を引き起こしていました。



事業前の状況

事業後

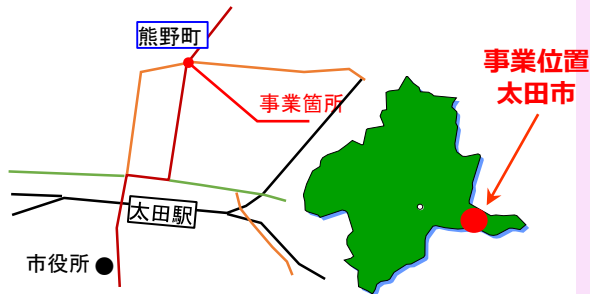
◆右折車線を設置することで渋滞を緩和し、円滑な通行空間を確保しました。



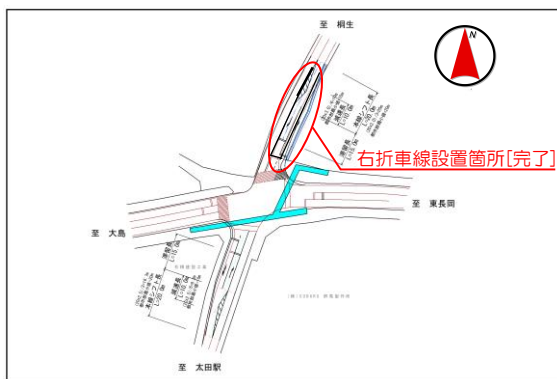
事業後の状況

事業の概要

- 事業箇所：太田市熊野町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 50m
- 事業期間：令和3年度～令和4年度



事業の進捗状況 (令和4年度完了)



今、何をしているか

令和4年度に、交差点工事が完了しました。



事業のすすみ具合

事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

市街地の円滑な交通を確保するため

右折車線を 整備します

地元の声

- ・右折レーンがないため、右折待ち車両による渋滞が発生している。(地元住民)
- ・右折待ちの車を避けるために、直進車が路肩に入り込み、歩行者と接触する危険がある。(地元住民)

事業前

- ◆右折車線がないため、右折待ちの車両により渋滞が発生しています。



事業前の状況

事業後

- ◆右折車線を設置することで渋滞を緩和し、円滑な通行空間を確保します。



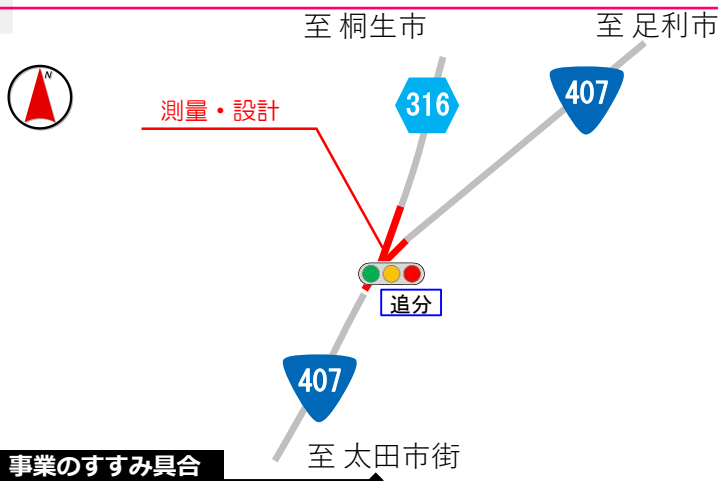
事業後のイメージ (一例)

事業の概要

- 事業箇所：太田市東金井町
- 事業内容：交差点改良 1箇所 延長 262m
- 事業期間：令和5年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)



今、何をしているか

令和6年度は、引き続き、測量・設計業務を進めます。



事業開始 ●

● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

安全な道路・交通環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・途中だけ歩道がないので、小学校の児童が通行するのに危険だ。(地元住民)
- ・大型車両の往来が激しいため、本当に危なくて困っている。(地元住民)

事業前

◆交通量が多いうえに歩道がないため、危険な状況にあります。



事業前の状況

事業後

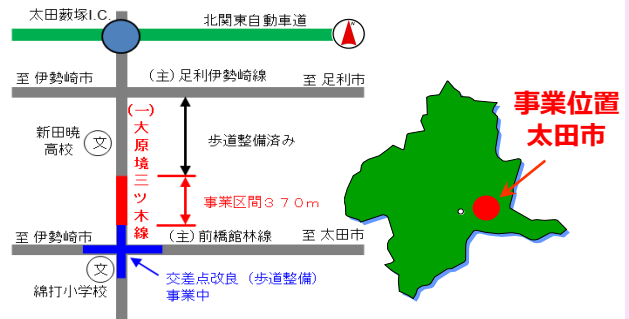
◆歩道を整備することにより、通学児童の安全を確保します。



事業後のイメージ(一例)

事業の概要

- 事業箇所：太田市新田大根町
- 事業内容：歩道整備 延長370m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：令和5年度～



事業の進捗状況 (令和6年3月末現在)

今、何をしているか

令和6年度は、用地測量を実施します。



事業のすすみ具合

事業開始 ● ● 事業完了



どのような未来を目指すための事業か

安全な道路・交通環境を確保するため

歩道を整備します

地元の声

- ・小学校の児童が歩くのに危険だ（地元住民）
- ・大型車両の往来が激しいため、本当に危なくて困っている（地元住民）

事業前

◆交通量が多いうえに歩道がないため、危険な状況にあります。



事業前の状況

事業後

◆歩道を整備することにより、通学児童の安全を確保します。



事業後のイメージ（一例）

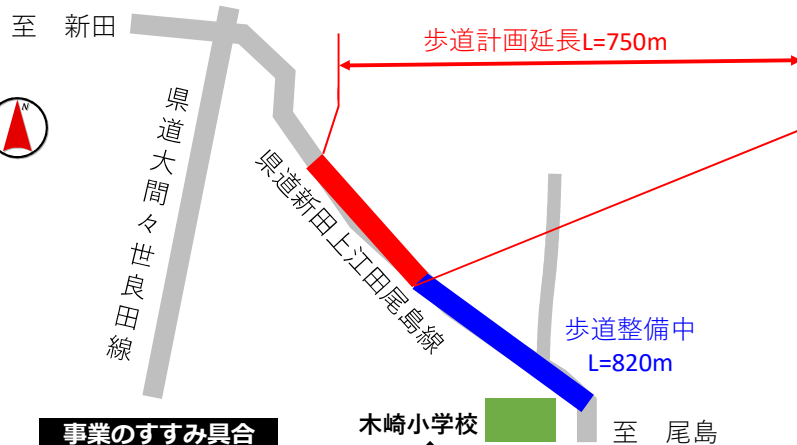
事業の概要

- 事業箇所：太田市新田赤堀町
- 事業内容：歩道整備 延長750m
歩道幅 2.5m
- 事業期間：令和6年度～



事業の進捗状況（令和6年3月末現在）

今、何をしているか



令和6年度は、測量設計業務を実施します。

